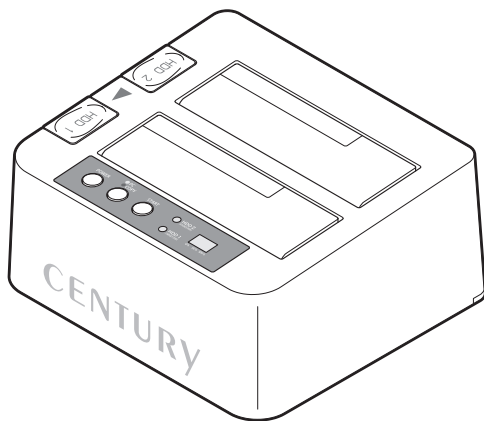


裸族のお立ち台DJ クローンプラス SATA 6G Ver.2

CROS2EU3CP6G2
取扱説明書



■もくじ

■はじめに	3
●安全上のご注意	3
■制限事項	8
■ご使用の前に	8
■製品仕様	9
■製品内容	9
■各部の名称	10
■対応HDD/SSD	12
■対応機種	12
■対応OS	13
■HDD/SSDの取り付け方法	14
■HDD/SSDの取り外し方法	17
■PCとの接続方法	18
■電源の投入方法	19
■ディスクコピー機能	20
■ディスクコピーモード時のトラブルシューティング	26
■トラブルシューティング	30
■FAQ	33
■コピーモード時のFAQ	35
■巻末付録	巻末付録1
●領域の確保とフォーマット	巻末付録2
■Windows 10/Windows 8.1(8)/Windows 7/Windows Vistaの場合	巻末付録2
●ハードウェアの取り外し手順	巻末付録10
●Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6～10.10まで)	巻末付録12
●Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法	巻末付録16
●サポートのご案内	巻末付録20

はじめに

安全上のご注意 （必ず守っていただくようお願いいたします）

- ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

 警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
 注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

 注意指示事項	 禁止（禁止行為）
 分解禁止	 濡れた手での接触禁止
 水濡れ禁止	 電源プラグを抜く
 接触禁止	 ケガに注意

はじめに

安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

警告



煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をしないでください。

内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。

点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



機器の内部に異物や水を入れない

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。



電源の指定許容範囲を超えて使わない

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。

定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

 警告**電源コード、接続コードに関する注意事項**

以下の注意点を守ってご使用ください。

被膜が損傷したり、故障を招くだけではなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
- コードの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステーブル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。

**雷が鳴り出したら機器に触れない**

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。

**ぬれた手で機器に触れない**

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

**体に異変が出たら使用しない**

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。

機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

はじめに

安全上のご注意 (必ず守っていただくようお願いいたします)

注意



設置場所に関する注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

⚠ 注意



長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。



機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。



小さいお子様を近づけない

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。



小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。



静電気にご注意ください

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

【制限事項】

- 本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品は2.5/3.5" シリアルATA HDD/SSD専用です。パラレルATA(IDE)は使用できません。

【ご使用前に】

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

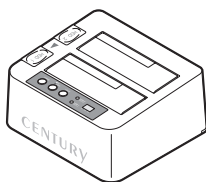
本製品はHDD/SSD等のSATA機器をむき出しのままPCに接続するための製品です。本来、ケースなどに内蔵して使用するSATA機器を露出したまま通電させることになりまので、感電等の事故、およびSATA機器へのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

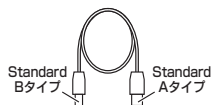
- 型番：CROS2EU3CP6G2
 - 商品名：裸族のお立ち台DJクローンプラス SATA 6G Ver.2
 - インターフェイス
 - ・デバイス側：SATA I / II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps
 - ・ホスト側：【USB】USB 2.0 / 3.0 【eSATA】SATA 3.0 / 6Gbps
 - USBコネクタ形状：Standard Bタイプ
 - 寸法：幅148mm×高さ132mm×奥行き70mm(突起部含まず)
 - 重量：約 550g(ドライブ含まず)
 - 温度・湿度：温度5℃～35℃・湿度20%～80%
(結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること)
 - 電源仕様：【AC入力】100V～240V 【DC出力】12V 4A
- ※本製品にHDD/SSDは含まれておりません。

【製品内容】

- | | | |
|---|---|--|
| ☐ CROS2EU3CP6G2 本体 | ☐ 専用USB3.0ケーブル × 1 | ☐ 専用eSATAケーブル × 1 |
| ☐ 専用ACアダプター × 1 | ☐ 専用ACケーブル × 1 | ☐ 取扱説明書/保証書(本書) |



CROS2EU3CP6G2 本体



専用USB3.0ケーブル



専用eSATAケーブル



専用ACアダプター



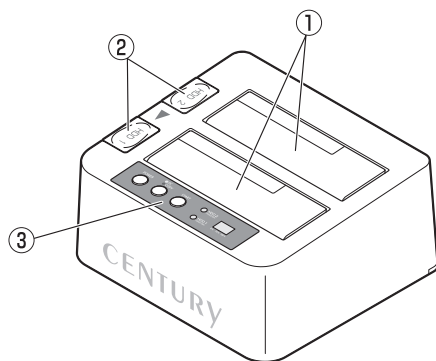
専用ACケーブル



取扱説明書/保証書

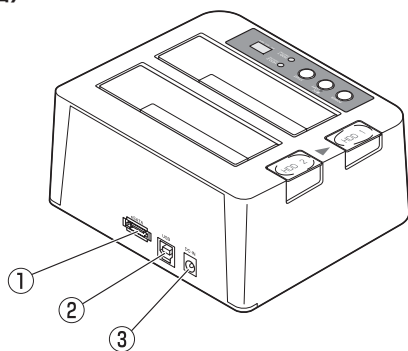
【各部の名称】

〈上面・正面〉



- ① HDD/SSD差し込み口
- ② HDD/SSD取り出し補助ボタン
- ③ 操作パネル
→P.11 操作パネル詳細

〈背面〉



- ① eSATAコネクタ
- ② USB3.0コネクタ
- ③ 電源コネクタ

裸族坊や センちゃん からのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDD/SSDをケースに入れず、むき出し＝「裸」のまま手軽に使用することを想定して作られています。内蔵用HDD/SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。

特に静電気やホコリに弱いため、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。

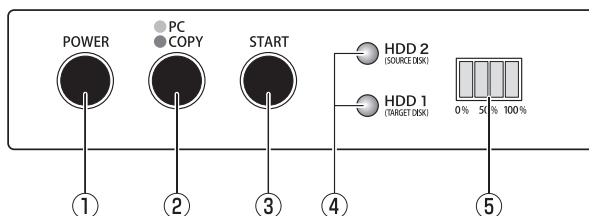
また、HDD/SSDを保管するときは高温多湿、ホコリの多い場所を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

デリケートな
裸族を
守るのう！



センちゃん

〈操作パネル詳細〉



- ①電源ボタン : 本製品の電源をオン/オフするためのボタンです。
電源オン時、ボタンが青色に点灯します。
- ②PCモード/コピーモード切り替えボタン: PCモードとコピーモードを切り替えるときに使用します。
 • PCモード (青色点灯時): 本製品をPCと接続して使用する際のモードです。
電源オン時は必ずPCモードになります。
→P.18【PCとの接続方法】
- コピーモード (赤色点灯時): 本製品のディスクコピー機能を使用する際のモードです。
電源をオンにしたあと、このボタンを約3秒長押しすると、LEDが青色から赤色に切り替わり、ディスクコピー機能が使用可能になります。
→P.20【ディスクコピー機能】
※コピーモード時は本製品をPCに接続しても認識されません。
- ③コピースタートボタン: ディスクコピーモード時、コピーを開始する際に使用します。
- ④HDD/SSDアクセスLED: HDD/SSD認識時、青色に点灯します。
HDD/SSDアクセス時、ピンク色に点滅します。
- ⑤コピー進行インジケータLED: ディスクコピーモード時、25%単位でコピーの進行状況を示します。
また、PCモード時はディスクアクセス時、LEDが左右に動きます。

【対応HDD/SSD】

※本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0またはeSATAのため、転送速度はそれぞれのインターフェイスの上限速度となります。

<HDD>

■2.5インチまたは3.5インチのSATA HDD (SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※10TBまでのHDDで動作確認を行っております。(2016年7月現在)

対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

※SAS (Serial Attached SCSI) HDDは使用できません。

※3.3V駆動の2.5インチHDDは動作しません。

※出し入れの際、HDDに微細な傷がつく場合があります。

あらかじめご了承のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。

<SSD>

■MLCタイプの5V駆動2.5インチSATA SSD (SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※3.3V駆動の1.8インチSSDや、ZIFコネクタ、Micro SATA、Mini SATAおよび特殊形状のSSD (Asus Eee PC 内蔵のSSD等)は接続できません。

また、SLCタイプのSSDにつきましては動作保証外とさせていただきます。

【対応機種】 (2016年7月現在)

※UASPでの動作には、UASP対応USBホストインターフェイスとWindows 8以降またはMac OS 10.8以降のOSが必要となります。

<USB接続>

■Windows

- USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機
- CPUクロック2GHz/メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

動作確認済みUSB3.0ホストコントローラ

- | | |
|--------------------------------------|---|
| • Intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ | • Asmedia Asm 1042 USB3.0ホストコントローラ |
| • Intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ | • RENESAS (NEC) μPD72020x USB3.0ホストコントローラ |
| • ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ | • VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ |
| • FrescoLogic FL1100 USB3.0ホストコントローラ | |

※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

■Mac

- USB3.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※USB3.0での動作は、USB3.0インターフェイスが標準搭載されているモデルのみで動作を保証します。

USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

<eSATA接続>

■Windows：ポータブルマルチブライヤー対応eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機

■Mac：ポータブルマルチブライヤー対応eSATAインターフェイスを備えたIntel Mac

※Windows、Macともに、eSATA接続でHDDを2台接続する場合は、eSATAホストがポータブルマルチブライヤーに対応している必要があります。

動作確認済みeSATAホストインターフェイス

- SiliconImage SiI3132 eSATAホストインターフェイス*
- Asmedia ASM1061 eSATAホストインターフェイス

※RAIDユーティリティには対応しません。

【対応OS】

■Windows

- Windows 10/Windows 8.1(8)/Windows 7/Windows Vista

※Windows RT、Starter Edition、Embedded、mobileは動作対象外となります。

※Windows Updateにて最新の状態（Service Pack含む）にしてご使用ください。

最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

■Mac

- Mac OS 10.11.6/10.10.5/10.9.5/10.8.5/10.7.5/10.6.8
(2016年7月現在)

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

本製品からのOS起動に関して

本製品はeSATA接続に限りOS起動が可能です。起動方法等に関しては、eSATAホストカードの取扱説明書をご確認ください。

USB接続でのOS起動には対応していません。

SATA HDD/SSDの取り扱いについて

HDD/SSDの保護のために、未使用時は本製品からHDD/SSDを取り外して保管してください。

SATA HDD/SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されております。

この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

【HDD/SSDの取り付け方法】

■HDD/SSD接続の前に

- HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

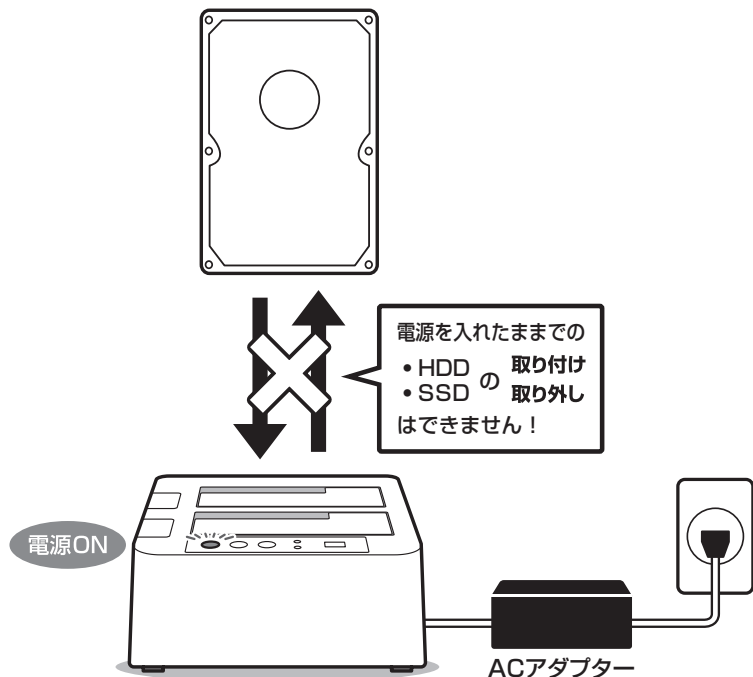
※注意

すでにデータの入っているHDD/SSDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

⚠ 警告

■接続および電源投入の順序にご注意ください！！

- 本製品はまずHDD/SSDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
 - 本製品のための接続、または電源投入後の抜き差し(ホットスワップ)には対応しておりません。
- ※上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDD/SSDの故障をまねく可能性がございます。





注意

※本製品はシリアルATA (SATA) HDD/SSD専用です。
パラレルATA (PATA) は接続できません。



SATAコネクタ

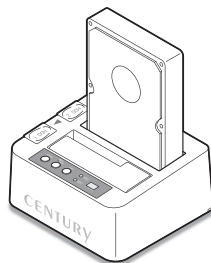
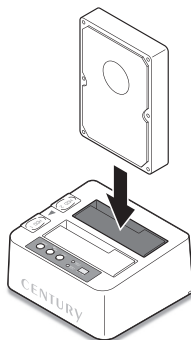


PATAコネクタ

■3.5" HDDの取り付け方法

HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態でHDD/SSD差し込み口にゆっくり差し込みます。

〈完成図〉



■注意！

HDDの取り付け、取り外しを行う際にHDDに傷がつく場合がございます。

HDDに傷がついたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDDメーカーの保証が受けられなくなる場合がございます。

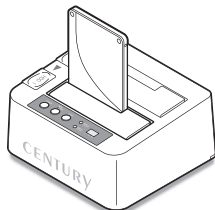
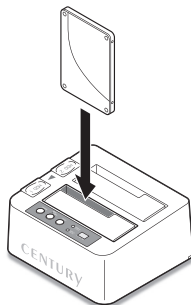
HDDの出し入れはゆっくりと静かにを行い、必要以上に傷つかないように慎重にお取り扱いください。

【HDD/SSDの取り付け方法】

■2.5" HDD/SSDの取り付け方法

HDD/SSDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態でHDD/SSD差し込み口にゆっくり差し込みます。

〈完成図〉



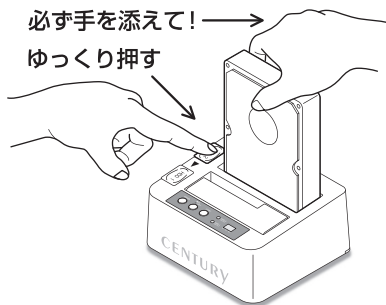
■注意！

HDD/SSDを取り付ける際には、必ずHDD/SSDに手を添えて行ってください。
手を添えずに取り付けを行うと、HDD/SSDのコネクタを破損するおそれがあります。

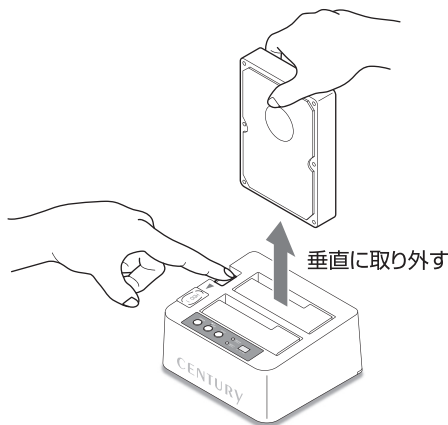
【HDD/SSDの取り外し方法】

※本製品はSATA HDD/SSDのホットスワップには対応していません。
HDD/SSDを取り外す際は、必ず電源をオフにしてから行うようにしてください。

1. HDD(またはSSD)に手を添えながら、HDD/SSD取り出し補助ボタンをゆっくり押します。



2. HDD/SSD取り出し補助ボタンを押すとHDD(またはSSD)がせり出てきますので、ゆっくり垂直にHDDを取り外します。

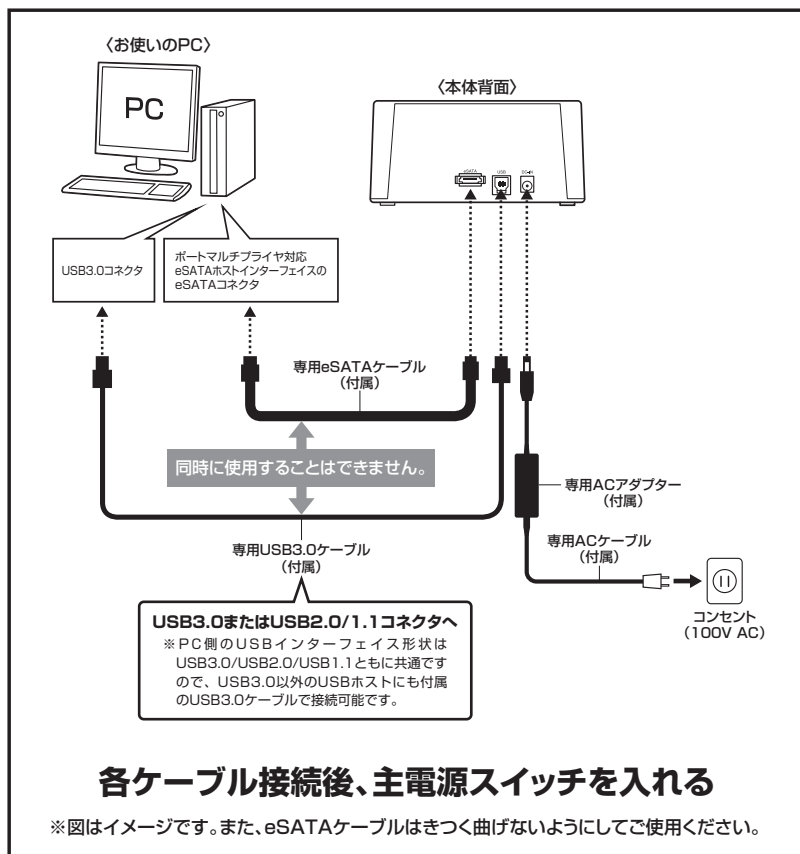


■注意！

HDD/SSDを取り付ける際には、必ずHDD/SSDに手を添えて行ってください。
手を添えずに取り付けを行うと、HDD/SSDのコネクタを破損するおそれがあります。

【PCとの接続方法】

本製品をコンセント電源とお使いのPCに接続すれば、使用の準備は完了です。



●eSATAポートマルチブライヤーとは

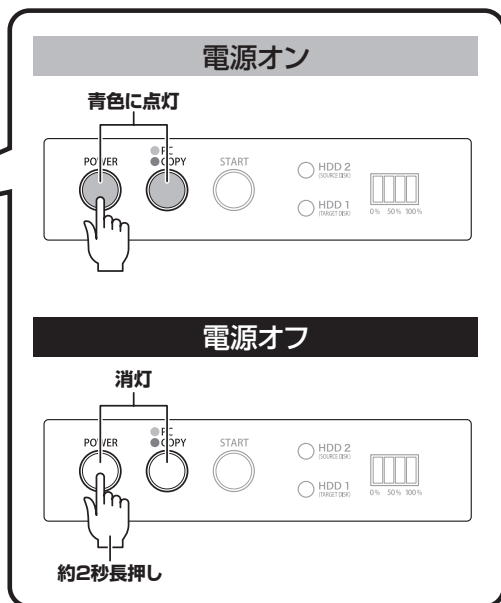
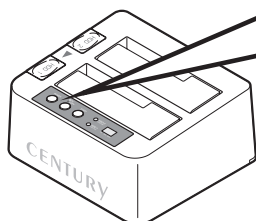
eSATAポートマルチブライヤーは、SATA規格のひとつです。

従来SATAは、ホストとデバイスを1対1でつなぐことしかできませんでしたが、ポートマルチブライヤー機能を使用すると、1本のeSATAケーブルで理論上15台までのeSATA機器を認識させることができます。

また、ホスト側がポートマルチブライヤーに対応していない場合、デバイス側がポートマルチブライヤー対応で複数のHDDを搭載したとしても、HDDは1台しか認識されません。

【電源の投入方法】

電源ボタンは一度押すと電源がオンになり、電源オンの状態で電源ボタンを約2秒長押しすると、電源がオフになります。



※電源オフ→電源オンを行うときは、電源をオフにしたあと5秒程度待ってから電源をオンにしてください。

【ディスクコピー機能】

本製品はPCと接続せず、単体でディスクのコピーができる機能が搭載されています。セクタ単位のコピーなので、内容を問わずディスクを丸ごとバックアップすることが可能です。また、ファイルシステムも含めてコピーされるので、コピー先のディスクをフォーマットする必要もありません。

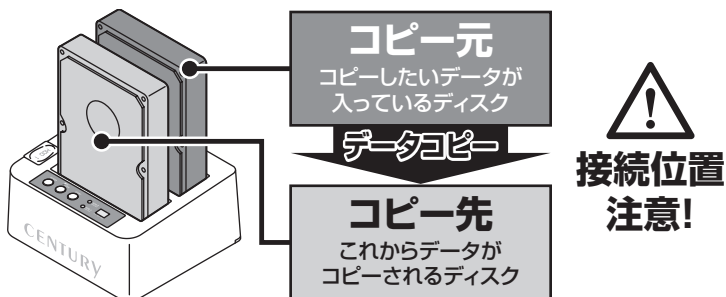
さらに、エラースキップ機能を搭載しているため、コピー元のディスクに不良セクタがある場合でも、不良セクタをスキップしながらコピーすることが可能です。

注意！～ディスクコピーの前に～

ディスクコピーを行う際、ディスクの接続場所や操作を誤ると、大事なデータがすべて消失してしまうおそれがありますので、必ず次の内容をご確認のうえ、本説明書の手順通りに操作を行ってください。

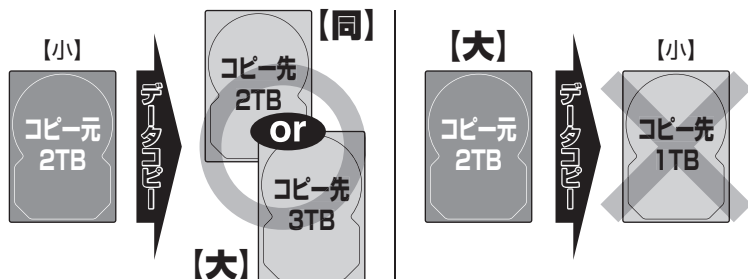
■コピー元とコピー先の接続位置に注意

- コピー元とコピー先の接続位置を間違えると、コピー元のデータがすべて消えてしまう場合がありますので、接続位置は十分にご注意ください。



■コピー元とコピー先の容量に注意

- コピーをする際は、コピー先のディスクがコピー元のディスクと同容量、または容量の大きなものであることを確認してください。コピー元より小さな容量へのディスクにはコピーできません。



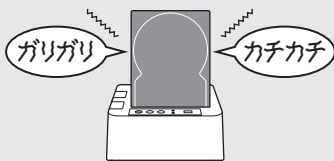
注意！～ディスクコピーの前に～(つづき)

■ディスクの状態に注意

- 本製品はエラースキップ機能を搭載しているため、不良セクタのあるディスクのコピーが可能となっていますが、ディスクの状態により、コピーできない場合があります。
- また、コピー先に不良セクタがある場合はコピーができません。

～コピーできない例～

ディスクから異音が出る



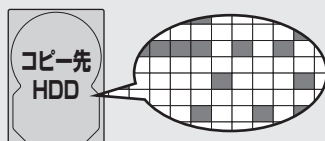
PCと接続してもまったく認識しない



電源を入れてもディスクが回転しない



コピー先のディスクに不良セクタあり



■コピーにかかる時間に注意

- 容量の大きなディスクをコピーする際は非常に時間がかかる場合があります。また、不良セクタがあるディスクの場合、膨大な時間がかかる場合がありますので、コピーを開始する際は、時間に余裕を持って行うことをお勧めします。
- コピー開始後の強制終了や電源オフはコピー元、コピー先のディスクに悪影響を与える場合がありますのでお控えください。

コピー時間(例1)



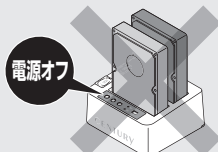
約180分

コピー時間(例2)



数十時間～数日間

コピー中の禁止事項

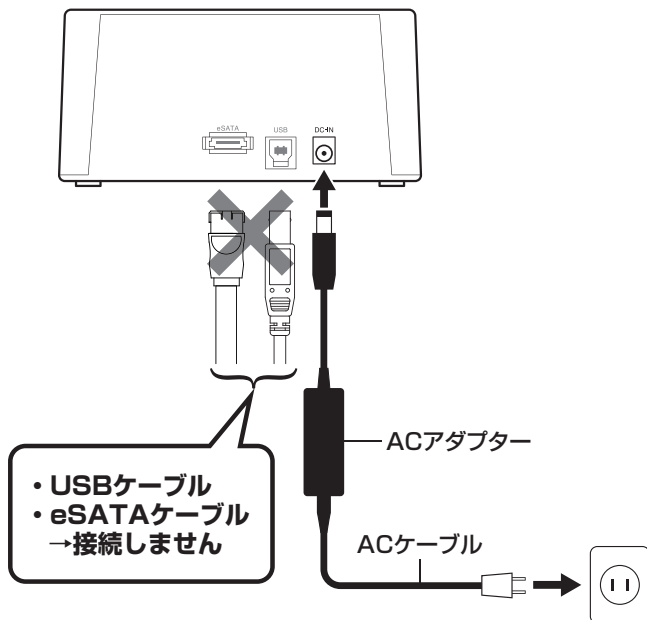


コピー中の電源オフ

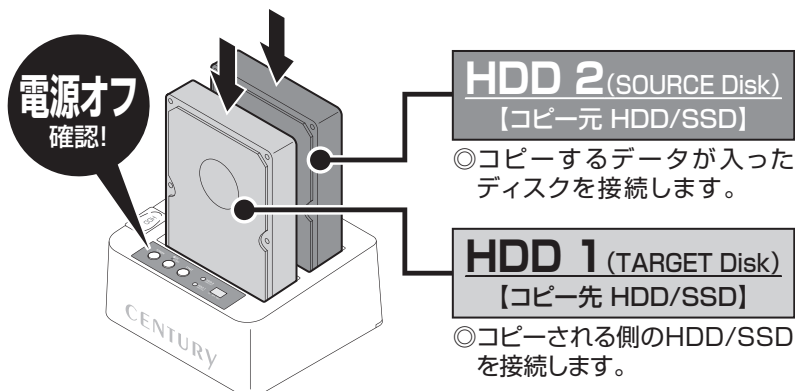
【ディスクコピー機能】

■ディスクコピーの手順

1. 本製品とACアダプター、ACケーブルを接続します。
USBケーブル、またはeSATAケーブルがPCと接続されている場合は取り外してください。



2. 電源がオフになっていることを確認し、HDD 2 (SOURCE DISK) スロットにコピー元の HDD/SSD を接続し、HDD 1 (TARGET DISK) スロットにコピー先の HDD/SSD を接続します。



〈コピー元からコピー先へのデータの流れ〉



⚠ 注意

HDD/SSDを接続するスロットにご確認ください。コピー元とコピー先を間違えてコピーを開始すると、**コピー元のHDD/SSDの内容がすべて消失してしまいます。**

また、コピー先のHDD/SSDは必ずコピー元のHDD/SSDと同容量または大きい容量のものを接続してください。コピー元より容量が小さい場合、コピーが開始されません。

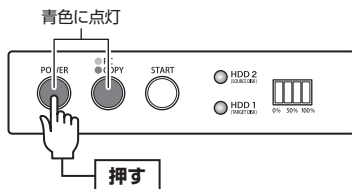
コピー元と同容量であっても、メーカーが異なる場合、容量に誤差がありコピーができない場合がありますので、同容量でコピーする場合は同メーカー・同型番のものをご使用ください。

【ディスクコピー機能】

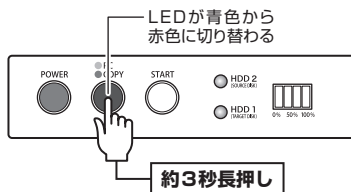
3. 電源ボタンを押して電源をオンにします(①)。

HDDの回転が安定してからPCモード/コピーモード切り替えボタンを約3秒長押しすると、LEDが青色から赤色に切り替わります(②)。これでコピーの準備は完了です。

①電源ON

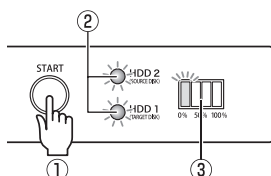


②約3秒長押し

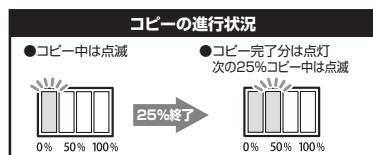


4. コピースタートボタンを押すと、ディスクコピーが開始します。
 2つのHDD/SSDアクセスLEDがピンク色に高速点滅し、コピー進行インジケータLEDの左のLEDが青色に点滅します。
 コピーが25%進行することにより左のLEDから点滅→点灯に変わります。
 コピー進行インジケータLEDがすべて点灯し、HDD/SSDアクセスLEDがピンク色から青色の点灯に変わるとコピー完了です。
 ※コピーが完了しても自動的に電源が切れないので、コピーが完了したことを確認したら、電源をオフにしてください。

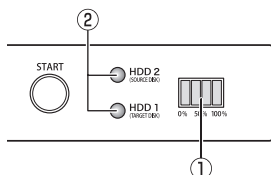
●コピー開始時



- ① コピースタートボタンを押す
- ② HDD/SSDアクセスLEDがピンク色に高速点滅
- ③ コピー進行インジケータLEDが青色に点滅、点灯



●コピー終了時



- ① コピー完了時、コピー進行インジケータLEDが全点灯
- ② HDD/SSDアクセスLEDが、ピンク色→青色点灯

※コピーが完了しても自動的に電源が切れないので、コピーが完了したことを確認したら電源をオフにしてください。

⚠ 注意

コピー中に電源をオフにしないでください。HDD/SSDの内容が破損するおそれがあります。

◎コピーにかかる時間はHDD/SSDにより異なります。

～参考～

弊社テスト環境にて2TB HDDのコピーが約180分

【ディスクコピーモード時のトラブルシューティング】

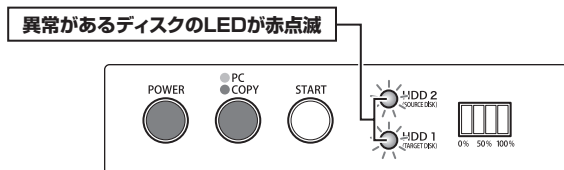
コピーが開始されない、またはコピーが途中で止まってしまうなど、正常に動作していない場合は以下の対処をお試しください。

■コピーが開始されない

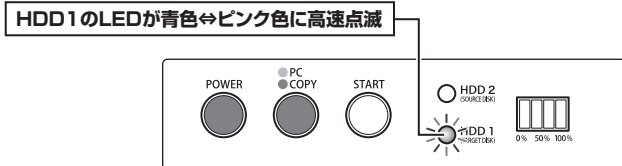
どちらかのディスクに異常がある、またはコピー先のディスク容量がコピー元のディスク容量より少ない場合、コピーは開始されません。異常のあるディスクを交換するか、コピー先をディスク容量の大きいものに交換してください。

～コピーが開始されないときの各LEDの挙動～

- ディスクに異常があったり認識しない場合
→異常があるディスクのLEDが赤点滅します。



- コピー先のディスク容量が少ない場合
→HDD 1のLEDが青色⇄ピンク色に高速点滅します。
※HDDの故障の状態によっては違う挙動になる場合があります。



■コピーが途中で止まる

- コピー先に不良セクタがあると、コピーが途中で止まります。

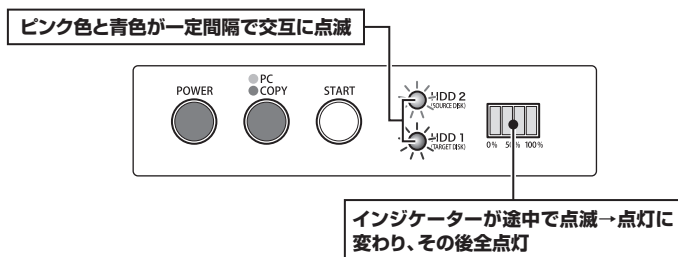
この場合、本製品の電源をオフにして、ディスクチェックソフト等でコピー先のディスクチェックを行ってください。

※本製品のディスクコピー機能はコピー先に不良セクタ、不良ブロックがある場合、コピーできません。

あらかじめご了承ください。

- また、コピー元に不良セクタが大量にあると、エラースキップに非常に時間がかかり、コピーが進んでいないように見えることがありますが、実際にはコピーが進行している可能性がありますので、インジケーターが正常な動作を示している限りは継続して様子をご確認ください。

～コピーが途中で止まるときの各LEDの挙動～

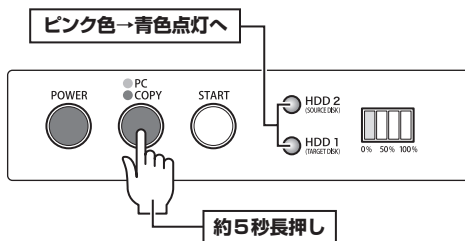


■コピーを途中で中止したい

コピーを途中で中止したい場合、PCモード/コピーモード切り替えボタンを約5秒長押しすると、コピーが中止されます。

※HDDの故障状況によっては中止できないことがあります。その場合は強制的に電源をオフにしてください。

～コピーを途中で中止したい場合～

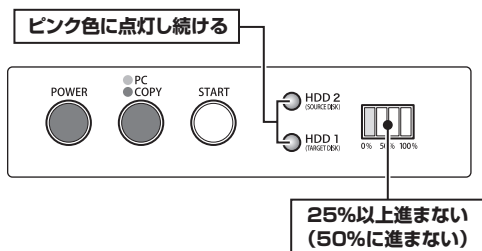


【ディスクコピーモード時のトラブルシューティング】

■コピーが正常に行われていない

1. 下図の状態になった場合、PCモード/コピーモード切り替えボタンを長押しし、コピーを中止したあと、電源を切ってください。
(コピーが中止されると、PCモード/コピーモード切り替えボタンのLED、HDD/SSDアクセスLEDの各LEDが青色点灯し、コピー進行インジケータLEDが消灯します。
コピー中止によりHDDが故障することはありません。)

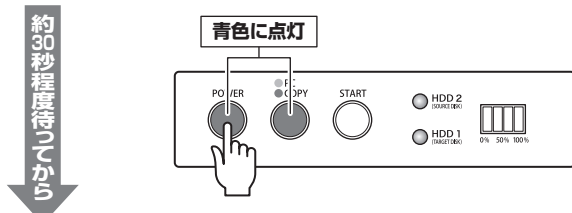
～コピーが正常に行われていないときの各LEDの挙動～



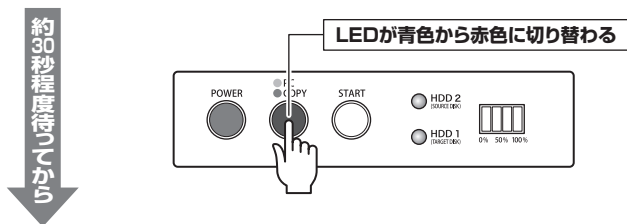
※コピー元に不良セクタが大量にあると、エラースキップに非常に時間がかかり、コピーが進んでいないように見ることがありますが、実際にはコピーが進行している可能性がありますので、インジケータが正常な動作を示している限りは継続して様子をご確認ください。

2. 再度電源を入れなおし、下記の手順にてもう一度コピーをお試しください。

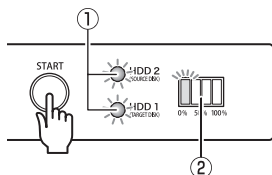
①電源オン



②約3秒長押ししてコピーモードに切り替え

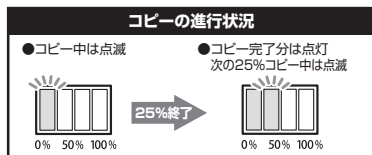


③コピースタートボタンを押す

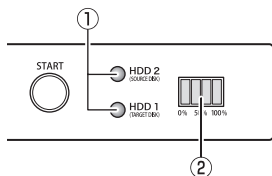


コピーが正常に動作している場合、

- ①HDD/SSDアクセスLEDが青色⇄ピンク色に高速点滅
- ②コピー進行インジケータLEDが点滅し、25%完了後は50%へ進む



～コピーが正常に終了した際の各LEDの挙動～



- ①コピー完了時、HDD/SSDアクセスLEDがピンク色→青色点灯へ
- ②コピー進行インジケータLEDが全点灯

※コピーが完了しても自動的に電源が切れないので、コピーが完了したことを確認したら電源をオフにしてください。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われるら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

→以下の点をご確認ください。

- 接続ケーブル、ACケーブルが正しく接続されているか
- 電源ボタンのLED、HDD/SSDアクセスLEDが点灯しているか
- eSATA I/F接続の場合、正しくドライバがインストールされて動作しているか
- eSATA I/Fの仕様はポータブルマルチプライヤーに対応しているか

■WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない

→eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうか異なります。詳しくは、お使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。

また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめておりません。

■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない

→本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■eSATA接続時のみ3TBのHDDが認識できない。または容量を誤認識してしまう

→ご使用のeSATAインターフェイスが2TB超の容量に対応していない可能性があります。

ご使用のeSATAインターフェイスの仕様をご確認ください。

■eSATA接続時、片方のHDDしか認識できない

→ご使用のeSATAインターフェイスがポータブルマルチプライヤーに対応していないと1台目のHDDのみが認識される状態になってしまいます。

ポータブルマルチプライヤー対応のeSATAインターフェイスを別途ご用意して、接続を行ってください。

■USB3.0接続時にUSB2.0として認識してしまう

→本製品の電源をオンにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

本製品の電源はオフの状態でご各ケーブルを接続し、主電源をオンにしてください。

■eSATA接続時、Windowsが起動後に接続すると認識されない

→eSATAのホストアダプターの仕様やモード設定によっては、パソコンの起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプターの仕様をご確認ください。

また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。

この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。

※システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

■2TBを超えるHDDを初期化しようすると2TBで分割されてしまう
(Windows 10/Windows 8.1(8)/Windows 7/Windows Vista)

→「ディスクの管理」にてフォーマット形式をご確認ください。

MBR形式の場合、1パーティションの上限が2TBまでとなります。

GPT形式にて初期化することで2TB以上のパーティションを作成することが可能です。

■eSATA接続だと認識するが、USB接続だとマイコンピュータにアイコンが表示されない(Windows)

→ダイナミックディスク形式でHDDを初期化していないかご確認ください。

USB接続の場合は、スタンダード形式のみ使用可能です。

■USB3.0接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなったり、HDDが断続的に「回転⇄停止」をくり返す

→USB3.0インターフェイス側のドライババージョンが古いと発生する場合があります。

ご使用のUSB3.0インターフェイスのドライバが最新の状態になっているか、新しいドライバがリリースされていないかご確認ください。

また、設置場所やPC本体との距離などによってはノイズ等の影響を受けることがございます。設置位置を変えてみての動作もご確認ください。

【トラブルシューティング】

■2TBのHDDを接続したのに、認識される容量が1.8TB程度になってしまう

→計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

- **1MB = 1,000,000 バイト**

で計算した値で示しています。それに対し、一般的には、

- **1KB = 1024 バイト**

- **1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**

- **1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**

- **1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト**

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみますと、

- **2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約 1.8TB**

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(ハードディスクドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

【FAQ】

Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：10TB(テラバイト)までとなります。(2016年7月現在)

Q：カードリーダーのようにHDD/SSDを抜き差しして使うことは可能ですか？

A：残念ながらできません。本製品はあくまでドライブアダプターですので、電源を切ったうえで抜き差しをする必要があります。

電源を入れた状態でHDD/SSDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品ならびにHDD/SSDを故障させる可能性があります。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD/SSD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDD/SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：OSの起動は可能ですか？

A：eSATA接続でかつ、ホストがeSATA起動可能である場合のみ使用できます。
ただし、すべての環境でのOS起動を保証するものではありません。
※USB接続でのOS起動はサポート対象外とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

A：基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用にできない場合があります。
ご使用にできない場合は、フォーマットを行う必要があります。
不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は、必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q：30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しません(Windows)

A：HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。
フォーマットを短時間で完了させたい場合は「クイックフォーマット」を選択してください。
詳しくは、巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

【FAQ】

Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：サポート対象外となります。

サポート対象外のOSに関しては弊社で動作確認を行っており、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。

ドライバの提供や操作方法等をご案内できかねます。

Q：HDDスリープ機能はありますか？

A：HDDスリープ機能は搭載しておりません。あらかじめご了承ください。

Q：PC電源連動機能はありますか？

A：PC電源連動機能はありません。あらかじめご了承ください。

Q：S.M.A.R.T情報が表示されない

A：SMARTを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。

弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

【コピーモード時のFAQ】

Q：異なる容量のHDDでもコピー可能ですか？

A：可能です。異なる容量でコピーする場合、必ずコピー元HDDの容量がコピー元HDDの容量よりも大きなものでなければなりません。

Q：異なる容量のHDDにコピーした場合、余った容量はどうなりますか？

A：コピーモードはHDDのパーティションをそのままコピーします。

500GBHDDから1TBHDDへコピーした場合、500GBはそのままコピーが行われ、残り500GB分が空き容量となります。

空き容量が利用可能かどうかはコピーしたOSによって異なります。

- Windows 10/Windows 8.1(8)/Windows 7/Windows Vistaの場合

ディスクの管理で余った容量に対して追加でパーティションを作成、利用可能です。

※Windows環境ではパーティションを編集するソフトウェアが販売されております。

そういったソフトウェアを利用することで、空き領域を利用することが可能な場合もございます。

- Macの場合

残念ながら利用する方法はございません。

Q：異なる回転数、モデルのHDDでもコピー可能ですか？

A：可能です。

Q：Linux、HDDレコーダー、カーナビ等のサポート外OSで使用しているHDDでもコピー可能ですか？

A：コピーモードはセクタ単位のコピーを行うため、HDD内のファイルシステムやデータフォーマットを判別しておりません。そのため、コピーモードでHDDのクローンを作成することは可能です。まったく同じ容量、メーカー、銘柄のHDDであればそのまま起動も可能ですが、容量が異なるHDDにコピーした際のOSの扱いがどのようになるかは未検証ですので、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。

その他、コピー防止等の機能、プログラムの存在により動作しない場合もございます。

あらかじめご了承ください。

Q：メーカーAの40GBHDDからメーカーBの40GBHDDへコピーができないのですが？

A：同じ40GBHDDでもメーカーによって細かい容量が異なります。コピーモードでは1バイトでもコピー元が大きな容量ですとコピーができません。また、同じ型番のHDDでもロット差により細かい容量の差がある場合がありますのでご注意ください。

Q：SCSI、SASのHDDをコピー可能ですか？

A：対応しておりません。

【コピーモード時のFAQ】

Q：PC内蔵HDDをUSB接続状態でコピー可能ですか？

A：PCに内蔵したままではコピーモードを使用することはできません。

コピーモードを使用する場合、必ずHDDをコンピュータから取り出して直接CROS2EU3CP6G2に接続しなければなりません。

Q：コピー元のHDDの使用済み容量が少ないのですが、これをコピー元よりも小さなHDDにコピーできますか？

A：残念ながらできません。使用していない領域もコピーを行いますので、必ずコピー先HDDはコピー元HDDよりも大きな容量でなければなりません。

Q：コピーにかかる時間はどのくらいですか？

A：コピーを行うHDDによっても異なりますが、一例として、2TBのHDDのコピーを約180分程度で行えております。

Q：コピーする前にコピー先HDDをフォーマットしておく必要はありますか？

A：必要ありません。コピー元HDDのファイルシステム、フォーマットで上書きされますので、コピー先HDDの内容はどのようなフォーマットを行ってあっても消去されます。

Q：インジケーターがコピー中を示していますが、コピーがいつまでたっても終わりません。

A：HDDにエラーがある場合、基本的にはインジケーターが全点灯し、エラー状態であることを示しますが、HDDの故障状態によってはコピー中の表示のまま止まってしまう場合もあります。

HDDの容量とコピー時間の目安(P.25)から、異常に長い間コピーが終了しない場合、コピーを中断してディスクチェックソフト等でディスクチェックを行ってください。

また、コピー元のHDDに不良セクタが多く発生している場合、コピーに長大な時間(数時間～数日)を要することがあります。

Q：差分バックアップは可能ですか？

A：対応しておりません。すべて先頭からの全領域コピーとなります。

Q：パソコンから抜き出したHDDをコピーして入れ替えたが起動しません。

A：パソコンによっては、保守用の特殊なパーティションがあり、HDDを変更したことにより動作に支障が出る場合があります。

残念ながらこの場合は、コピーは行っても起動には使えない状態となってしまいます。

あらかじめご了承ください。

Q：HDDからSSDにコピー可能ですか？

A：可能です。

- HDD→HDD
- HDD→SSD
- SSD→HDD
- SSD→SSD

どの組み合わせでもコピー可能です。

同様に2.5インチ→3.5インチ、3.5インチ→2.5インチのコピーも可能です。

Q：コピー後に不良セクタがあったかどうか確認できますか？

A：残念ながら確認機能はありません。

コピー後のHDDをPCに接続してデータをご確認ください。

Q：コピーが完了すればデータはすべて読めますか？

A：不良セクタのスキップが発生した場合、その領域のデータはコピーされません。

そのため、コピーは不完全な状態となり、一部またはすべてのデータが読み取れない可能性があります。

Q：ノートパソコンのHDDをコピーして入れ替えたら、リカバリ機能が使えなくなりました。

A：ノートパソコンによっては、リカバリ等の特殊領域をHDDの最終領域に配置して動作させているものがあるようです。

容量の異なるHDDにコピーを行った場合、このリカバリ領域がHDDの最終位置から移動してしまうことになり、機能しなくなる場合がございます。

Q：HPA情報を設定したHDD(容量クリップしたHDD)をコピーするとどうなりますか？

A：HPA情報の検出は行われません。

容量クリップした情報通りのHDDとして認識されます。

例) 2TBを1TBにクリップしたHDD→1TBのHDDとして認識。

1TBのコピーが行われます。

Q：エラースキップ機能をオフにすることはできますか？

A：エラースキップ機能をオフにすることはできません。

【MEMO】

[illegible]

【巻末付録】

新しいHDDをお使いの場合は こちらをお読みください。

- 領域の確保とフォーマット…………… 巻末付録2
 - Windows 10/Windows 8.1(8)/Windows 7/Windows Vistaの場合 …… 巻末付録2
- ハードウェアの取り外し手順…………… 巻末付録10
- Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6～10.10まで) …… 巻末付録12
- Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法 …… 巻末付録16

！ ご注意ください！

- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDD/SSDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のパソコン等でご使用になっていたHDD/SSDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD/SSD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDD/SSDを接続した場合であれば次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。



注意

この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。

消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

■Windows 10/Windows 8.1(8)/Windows 7/Windows Vistaの場合

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Windows 10】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows-10-format.html>



【Windows 8.1(8)】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows8-format.html>



【Windows 7】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows7-format.html>

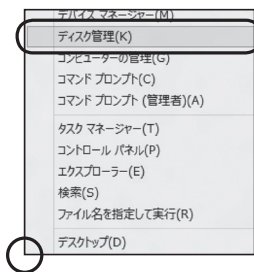


【Windows Vista】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windowsvista.html>



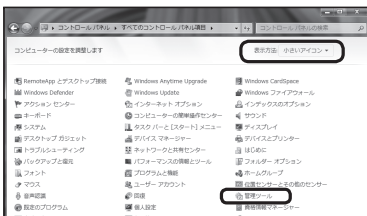
1.



Windows 10/8.1(8)

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。

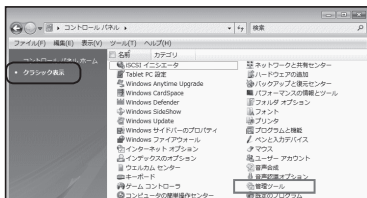
その後は手順.3にお進みください。



Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。



Windows Vista

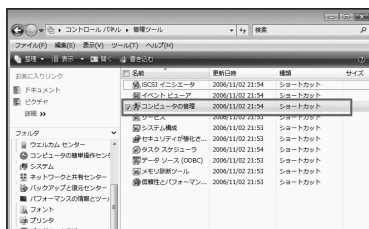
【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

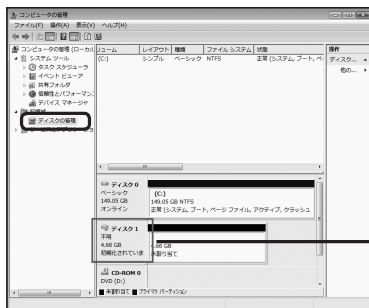
※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。

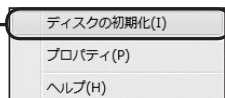
システムの管理者にご相談ください。

3.

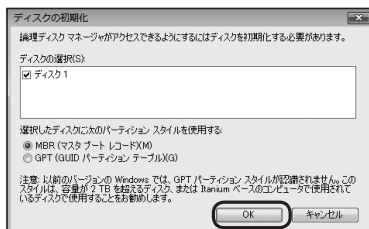


【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。



4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのいかを確認して【OK】をクリックします。

5.

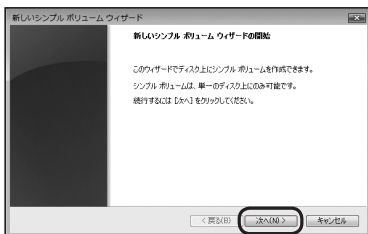


【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

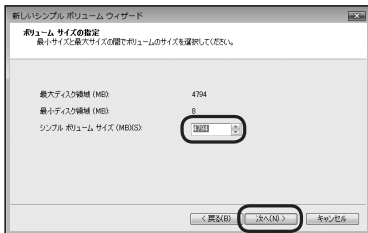
6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

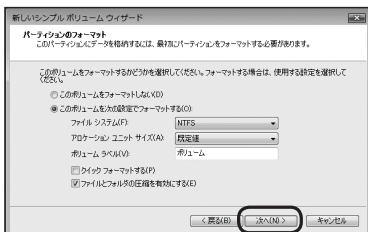
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

- ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。

特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

- ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

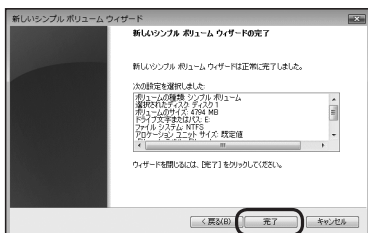
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

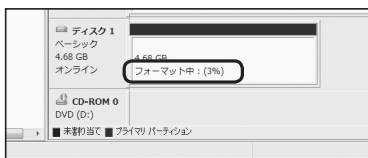
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

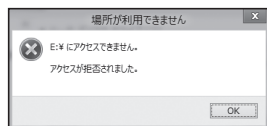
11.



これでフォーマットの作業は完了です。

ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【巻末付録】

ハードウェアの取り外し手順

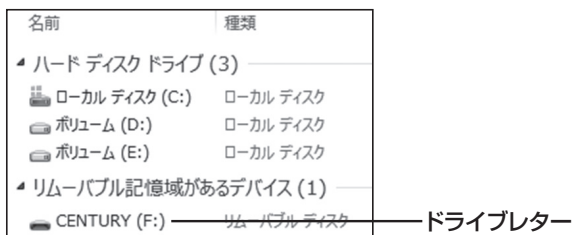
本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※製品の中に組み込んだHDD/SSDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をしたうえで、必ず製品の電源をOFFにしてから行ってください。

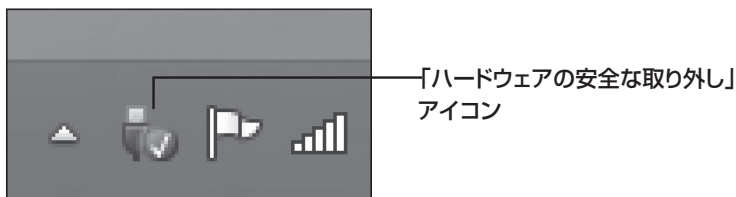
※画面はWindows 8のものになります。他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

1. 「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。

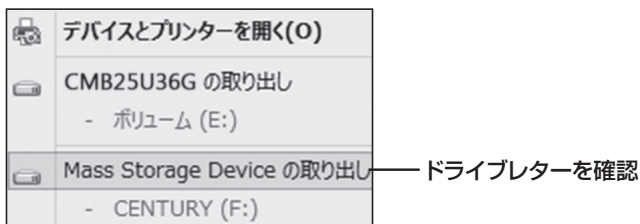
例：ドライブ（F:）を取り外す場合



2. タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

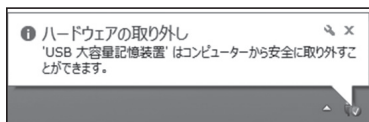


3. 手順1で確認したドライブレターのドライブをクリックします。



※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

4. 取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



【巻末付録】

Mac OSでの使用方法 (Mac OS 10.6～10.10まで)

本項では、Mac OSに新しいHDDを接続した際のフォーマット方法を説明します。

※Mac OS 10.11以降でフォーマットを行う場合は、巻末付録16【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照ください。



注意

安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDD/SSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいHDD/SSDのみを接続してください。

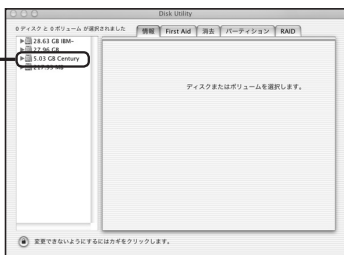
●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-format.html>



1.



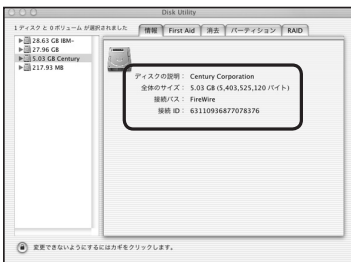
容量が一致する新しいHDD/SSD

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。

起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDD/SSDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDD/SSDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

【巻末付録】

Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで) (つづき)

3.

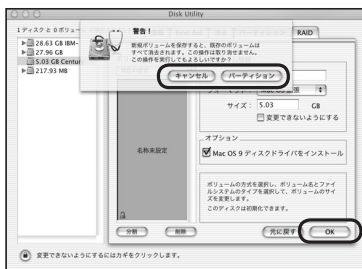


上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定を変更できます。

- **ボリューム情報**：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
- **名前**：作成するボリューム名を変更できます。
変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
- **フォーマット**：作成するボリュームのフォーマットを選択します。
Mac OS標準、Mac OS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。
通常は Mac OS標準か Mac OS拡張を選択してください。
- **サイズ**：作成するボリュームのサイズを変更できます。
- **オプション**：Mac OS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS 9で動作するドライバをインストールします。
- **分割**：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- **削除**：選択されているボリュームを削除します。
- **元に戻す**：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、
キャンセルする場合は「キャンセル」を
クリックします。

5.



フォーマットが完了すると、デスクトップ
にHDDアイコンが表示されます。

取り外しをする場合は、このアイコンを
Dockの中のごみ箱にドロップします。

【巻末付録】

Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDDがある場合は、あらかじめ取り外しを行い、新しいHDDのみを接続してください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法(OSX El Capitan[Mac OS 10.11])】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-osx-el-capitan-format.html>



1.



フォーマットされていないディスクを接続すると、メッセージが表示されますので、「初期化...」をクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。

※手動でディスクユーティリティを起動する場合は、アプリケーション>ユーティリティ>ディスクユーティリティを選択してください。

2.



ウィンドウ左側「外部」の下に接続されているディスクが表示されますので、フォーマットするディスクを選択します。

※フォーマットするディスクの容量等を確認して間違いがないか確認してください。

【巻末付録】

Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法(つづき)

3.



- ① ウィンドウ上部にある「消去」ボタンをクリックすると、シートダイアログが表示されますので設定を確認します。

【名前】…ディスクの名前を入力します。

【フォーマット】…通常は「OS X 拡張 (ジャーナリング)」を選択してください。

【方式】…通常は「GUID パーティションマップ」を選択してください。

※MacとWindows両方で利用したい場合は、フォーマットを「MS-DOS(FAT)」または「exFAT」、方式は「マスターブートレコード」を選択してください。

「MS-DOS(FAT)」は2TBより大きな容量のディスクでは利用できません。

exFATはOSのバージョン(過去のバージョン等)によっては、対応していない場合があります。

- ② 「消去」ボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

4.



完了のシートダイアログが表示されればフォーマット完了です。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市^{とよふたおきなほら}十^と余^{ふた}二^お翁^{きな}原^{ほら}240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

～弊社商品につきましてはのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました但、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.